

過去の講演会一覧

令和4年度	9月2日	『史跡指定50周年 ここまでわかった出雲国府！』 講演「国府研究から見た出雲国府について」 大橋泰夫（島根大学） 報告「発掘調査からわかった出雲国府のすがた」 吉松優希（古代文化センター） 「文献史料が語る国府と政庁のすがた」 吉松大志（宮内庁書陵部） 「伯耆国府跡の調査成果について」 箕田拓郎（倉吉市） パネルディスカッション「ここまでわかった出雲国府」 司会：花谷 浩（出雲弥生の森博物館）
令和3年度		※新型コロナウイルスのため未実施
令和2年度		
令和元年度	7月6日	『浜田開府400年記念 石見の山城を考える－土の城から石の城へ－』 講演「島根の山城－中世から近世へ－」 高屋茂男（八雲立つ風土記の丘） 報告「普源田砦跡－15世紀後半から26世紀前半の城－」 東森 晋（埋蔵文化財調査センター） 「七尾城跡－領主が居住した戦国時代の山城－」 松本美樹（益田市） 「浜田城跡－近世の城－」 藤田大輔（浜田市） パネルディスカッション「石見の山城を考える」 司会：守岡正司（埋蔵文化財調査センター）
平成30年度	3月16日	『明らかになった古墳時代の集落とマツリ－大田市内の最新の発掘調査成果を中心に－』 報告「大田市の古墳時代の集落とマツリ」 中田健一（大田市） 「河川の祭祀跡－平ノ前遺跡の調査成果－」 伊藤 智（埋蔵文化財調査センター） 「弥生・古墳時代の集落－御堂谷遺跡の調査成果－」 仁木 聡（埋蔵文化財調査センター）
平成29年度	11月12日	『しまねの弥生文化の源流を探る－朝鮮半島と出雲・石見・隠岐－』 講演「考古学からみた青銅器時代における朝鮮半島と島根」 平郡達哉（島根大学） 報告「渡来人と出雲の弥生時代遺跡」 赤澤秀則（松江市） 「朝鮮半島と出雲の青銅器文化」 増田浩太（埋蔵文化財調査センター） 「出雲・石見・隠岐の弥生時代墓制と朝鮮半島」 今福拓哉（江津市） パネルディスカッション「島根の弥生文化の源流をさぐる」 司会：松本岩雄（八雲立つ風土記の丘）
平成28年度	11月26日	『新発見！！石見最大の縄文ムラ－古屋敷遺跡が語る縄文文化－』 講演「縄文時代研究からみた古屋敷遺跡」 山田康弘（国立歴史民俗博物館） 報告「発掘調査でわかった古屋敷遺跡縄文ムラ」 宮本正保（埋蔵文化財調査センター） 「縄文時代の暮らしぶり」 柳浦俊一（埋蔵文化財調査センター） 鼎談「ここまでわかった石見の縄文時代」
平成27年度	12月5日	『弥生のタイムカプセル 西川津遺跡－出雲最大の弥生時代集落の実像に迫る－』 講演「列島の弥生時代集落研究からみた西川津遺跡」 吉田 広（愛媛大学法文学部准教授） 報告「山陰における弥生時代集落研究の最前線」 岩橋孝典（古代文化センター） 「西川津遺跡の調査からわかったこと」 内田律雄（埋蔵文化財調査センター） 「出雲平野における弥生時代前期集落の動向－矢野遺跡を中心に－」 坂本豊治（出雲市文化財課） シンポジウム「出雲最大の弥生集落 西川津遺跡の謎に迫る」
平成26年度	2月1日	『遺跡がたがぐ出雲と広島－山並みを越えた交流－』 講演「尾道松江線発掘調査の成果」 川原和人（埋蔵文化財調査センター） 報告「堂床遺跡の調査と出雲の玉作り」 是田 敦（埋蔵文化財調査センター） 「尾道松江線調査で判明した出雲の鉄作りの歴史」 松尾充晶（古代文化センター） 「上野1号墳の調査が与えたインパクト」 池淵俊一（埋蔵文化財調査センター） 鼎談「山並みを越えた交流－過去、現在、そして未来へ－」
平成25年度	11月16日	『庵寺古墳群と日本海交流－石見東部の古墳時代前期－』 講演「日本海沿岸部における古墳の出現・展開と石見地域」 岩本 崇（島根大学法文学部准教授） 報告「庵寺古墳群の発掘調査」 深田 浩（埋蔵文化財調査センター） 「中山古墳群（邑南町）の発掘調査」 三宅博士（松江市立出雲玉作資料館） パネルディスカッション「庵寺古墳群と石見東部の古墳時代前期」
平成24年度	12月8日	埋蔵文化財調査センター・古代文化センター開設20周年記念講演会 『石屋古墳とその時代－出雲の神話伝承と古墳、埴輪－』 講演「埴輪が語る古代出雲－石屋古墳形象埴輪からの問題提起－」 高橋克壽（花園大学教授） 報告「石屋古墳の発掘調査」 岡崎雄二郎（元松江市教育委員会参事） 「平所遺跡埴輪窯跡の調査」 松本岩雄（島根県教育庁文化財専門官） 「出雲の形象埴輪の復元」 椿真治（島根県教育庁文化財課調整監） パネルディスカッション「石屋古墳と五世紀の意宇の勢力－神話伝承を古墳と埴輪から探る－」
平成23年度	12月4日	『出雲神話を考古学する-古代北つ海（日本海）の交流を考える-』 講演「古代における北部九州と出雲との交流」 小田富士雄（福岡大学名誉教授） 「古代における北陸と出雲との交流」 坂井秀弥（奈良大学教授） 討論会「古代北つ海の交流を考える」

平成22年度	1月22日	『掘った！わかった！弥生時代の出雲！』 講演「弥生時代の日本海交流」 武末純一（福岡大学人文学部教授） 報告「山持遺跡」 池淵俊一（島根県教育庁文化財課） 「矢野遺跡」 坂本豊治（出雲市文化財課） 「青谷上寺地遺跡」 湯村 功（鳥取県立公文書館） 討論会「弥生時代の出雲と朝鮮半島の文化交流を考える」
平成21年度	12月12日	『古墳と鏡-その役割』 講演「古墳と鏡の副葬-中国鏡を中心に-」 岩本 崇（島根大学法文学部准教授） 報告「庵寺古墳群」 大庭俊次（埋蔵文化財調査センター） 「苅捨古墳」 内田律雄（埋蔵文化財調査センター） 「奥才古墳群」 徳永 隆（松江市教育委員会） 討論会「島根の前期古墳を考える」
平成20年度	2月8日	『ここまで掘った！ 石見の弥生ムラ』 講演「最近わかった石見の弥生時代」 田中義昭（島根県文化財保護審議会委員） 報告「浜田市内の遺跡紹介」 榊原博英（浜田市教育委員会） 「浜田市道休畑遺跡の紹介」 柳浦俊一（埋蔵文化財調査センター） 「益田市内の遺跡紹介」 長澤和幸（益田市教育委員会） 討論会「石見の弥生時代に迫る」
平成19年度	7月21日	『古代都市 出雲国府を復元する！』 講演「古代都市研究と出雲国府」 金田章裕（京都大学教授） 報告「出雲国府跡の発掘調査」 間野大丞（埋蔵文化財調査センター） 「古代の八雲立つ風土記の丘の復元」 丹羽野裕（埋蔵文化財調査センター） 討論会
平成18年度	7月23日	『沖手遺跡と石見の中世』 講演「中世の流通をめぐるモノと場の復元」 小野正敏（国立歴史民俗博物館教授） 報告「中世港町博多の風景」 大庭康時（福岡市教育委員会） 「益田市内の中世遺跡発掘事例」 大野芳典（益田市教育委員会） 「沖手遺跡の調査について」 東山信治（埋蔵文化財調査センター） 討論会
平成17年度	3月5日	『火山灰に埋もれた旧石器時代のムラ』 講演「日本の旧石器研究最前線」 稲田孝司（岡山大学文学部教授） 報告「三瓶火山灰と旧石器時代の年代」 中村唯史（三瓶自然館） 「西日本の旧石器時代遺跡の発掘事例」 山本 誠（兵庫県教育委員会） 「奥出雲町・原田遺跡の調査について」 伊藤徳広（埋蔵文化財調査センター） 討論会「ここまでわかった、島根の旧石器時代」

平成16年度	1月30日	『王墓出現-四隅突出型墳丘墓の起源をさぐる-』 講演「四隅突出型墳丘墓研究の現在」 渡邊貞幸（島根大学法文学部教授） 報告「広島県北部の四隅突出型墳丘墓」 伊藤 実（財団法人広島県教育事業団） 「青木遺跡の四隅突出型墳丘墓」 今岡一三（埋蔵文化財調査センター） 「西谷墳墓群の四隅突出型墳丘墓」 坂本豊治（出雲市文化企画部） 討論会「四隅突出型墳丘墓の初源と発展」
平成15年度	12月14日	『出土文字資料が語る古代の出雲平野』 講演「出土文字資料が語るあたらしい古代史像」 佐藤 信（東京大学大学院） 報告「文字資料が出土した出雲平野の遺跡」 松尾充晶（埋蔵文化財調査センター） 「出雲平野の木簡と墨書土器」 平石 充（古代文化センター） 討論会「出土文字資料が語る古代の出雲平野」
平成14年度	2月9日	『島根の歴史を変えた発掘調査』 講演「島根県の発掘10年」 町田 章（奈良文化財研究所） 報告「発掘調査黎明期～隠岐国分尼寺の調査など～」 勝部 昭（島根県教育委員会） 「大規模調査の始まり、そして埋文センター設立へ」 足立克己（八雲立つ風土記の丘） 「安来道路の果たした役割」 ト部吉博（埋蔵文化財調査センター） 「新しい発掘調査」 川原和人（埋蔵文化財調査センター）
平成13年度	2月17日	『ここまで解った！古代出雲の役所』 講演「古代官衙研究の最前線」 山中敏史（奈良文化財研究所） 報告「初期官衙の発見～古志本郷遺跡の調査～」 松尾充晶（埋蔵文化財調査センター） 「出雲国府の発掘調査」 柳浦俊一（埋蔵文化財調査センター） 「出雲国府発見の文字資料」 平石 充（埋蔵文化財調査センター） 討論会「ここまで解った！古代出雲の役所」
平成12年度	2月18日	『戦国時代の城・館と城下町』 講演「戦国時代の城・館と城下町」 永原慶二（一橋大学・和光大学名誉教授） 報告「益田氏関連遺跡群発掘調査の成果」 木原 光（益田市教育委員会） 「大内氏館跡発掘の成果」 古賀信幸（山口市教育委員会） 「吉川氏関連遺跡群発掘調査の成果」 小都 隆（広島県教育委員会） 討論会「戦国時代の城・館と城下町」
平成11年度	5月9日	『焼き物が語る石見の歴史～縄文土器から石見焼まで～』 講演「焼き物生産と流通からみた石見の歴史」 田中義昭（元島根大学教授） 報告「江津で発掘された古代の登り窯」 廣江耕史（埋蔵文化財調査センター） 「石見国府周辺の焼き物」 榊原博英（浜田市教育委員会） 「石見焼窯跡の発掘調査」 東森 晋（埋蔵文化財調査センター） 討論会「焼き物から見た石見の歴史」
平成10年度	12月13日	『三瓶山麓の縄文文化～三瓶山の噴火で埋まった縄文文化～』 講演「中国産地の縄文文化」 河瀬正利（広島大学文学部教授） 「縄文農耕研究の現状と課題」 高橋 護（ノートルダム清心女子大学教授） 報告「頓原町内の縄文時代遺跡群について」 田中迪亮・山崎順子（頓原町教育委員会） 「三瓶山火山灰と縄文時代の遺跡」 角田徳幸（埋蔵文化財調査センター） 「三瓶山麓の縄文時代遺跡に見られる地域交流」 深田 浩（埋蔵文化財調査センター） 討論会「三瓶山麓の縄文文化」
平成9年度	12月14日	『古代出雲平野の謎に迫る～最新の発掘調査が明らかにする青銅器時代の出雲平野～』 講演「弥生時代の環濠都市と神殿」 広瀬和雄（奈良女子大学教授） 「出雲平野の弥生時代集落」 田中義昭（島根大学教授） 報告 松山智弘（出雲市教育委員会） 宍道年弘（斐川町教育委員会） 平石 充（埋蔵文化財調査センター） 討論会「日本海最大の弥生都市は存在したか」
平成8年度	6月2日	『四隅突出型墳丘墓から方墳へ～塩津山1号墳が語る古代の出雲～』 講演「古墳出現前後の日本列島」 都出比呂志（大阪大学教授） 報告「塩津山1号墳の調査」 勝瀬利栄（埋蔵文化財調査センター） 「荒島の墳墓群の概要」 三宅博士（安来市教育委員会） 「安来市の弥生時代後期集落」 丹羽野 裕（埋蔵文化財調査センター） 討論会「出雲における古墳の出現とその背景について」
平成7年度	3月20日	『宍道町の原郷 出雲風土記の世界』 「宍道町の原郷 出雲風土記の世界」 関 和彦（共立女子第2高等学校教諭） 「考古学が迫る 出雲国風土記」 埋蔵文化財調査センター

平成6年度	3月12日	『古代九州からのメッセージ~安来市穴神横穴墓・彩色壁画の謎に迫る~』 「穴神横穴墓調査報告」 埋蔵文化財調査センター 「デジタル技術による壁画の分析」 野阪士郎（ソニー（株）システムビジネスカンパニー） 「彩色壁画から見た出雲と九州」 小田富士雄（福岡大学人文学部教授） 討論会「出雲のなかの九州文化」
平成5年度	11月27日	『石見の戦国時代』 「中・近世の城を歩く」 寺井 毅（中世城郭研究会会員） 「石見地方の戦国史」 川岡 勉（愛媛大学教育学部助教授）
平成4年度	5月13日	開所記念講演会 『宇宙と古代のロマン』 松井孝典（東京大学理学部助教授）